

議会だより

平成30年10月臨時・11月定例会版



皆様の声をお聴かせください。

～市政運営には市民の皆様のご意見が大切です～



平成31年成人記念式実行委員会との懇談会

主な内容

11月定例会市議会	2ページ
委員会活動報告	12ページ
10月臨時市議会、地域づくり協議会との意見交換会	14ページ
復興に向けて・その軌跡、ご意見を伺い市政に活かす	15ページ
広聴広報ニュース(平成31年成人記念式実行委員会との懇談会)	16ページ

11月定例市議会

11月定例市議会を11月29日から12月20日までの22日間の会期で開き、議案29件、陳情1件(3ページのとおりを)を審査しました。

総社市イメージキャラクター条例について

子育て王国そうじゃの Mascot キャラクターである チュッピーを本市のイメージキャラクターとし、その活用を促進することにより、市民の郷土愛の醸成を図り、もって活力あるまちづくりに資するため、必要な事項を定める条例です。本会議の採決では、萱野議員から反対討論があり、起立採決の結果、賛成多数により可決しました。

アレルギー対策厨房機器等の購入を可決

現在建設中の総社市学校給食センター(仮称)に必要な

厨房機器の購入に当たり、予定価格が2千万円以上であることから、議会の議決を得ようとするものです。今回購入予定の厨房機器には、アレルギー対策をさらに進める厨房機器も含まれ、全会一致で可決しました。

倉敷地区農業共済事務組合の解散に伴う関係条例の廃止

農業共済事業のより一層の合理的で効率的な運営を目的に、県内全域を対象とした岡山県農業共済組合が設立されます。それに伴う、平成31年3月31日付けの倉敷地区農業共済事務組合の解散及び財産処分、事務継承について、いずれも原案のとおり可決しました。

総社市営住宅条例の一部改正について

総社市営美袋住宅14戸を除却することに伴い、管理戸数を改める必要があるため、関

係条文の整備を行うものであり、全会一致で可決しました。

総社市下倉住宅条例の廃止について

老朽化した総社市下倉住宅の建物全戸を除却するため、条例廃止するものであり、全会一致で可決しました。

工事委託契約の締結について

総社市特定環境保全公共下水道美袋浄化センター災害本復旧工事について、日本下水道事業団と工事委託契約を締結しようとするものです。水処理設備内の機械設備等更新及び電気設備更新の予定価格が1億5千万円以上であることから、議会の議決が必要であり、原案のとおり可決しました。

工事委託契約締結の変更について

総社市富江汚水中継ポンプ場水処理設備工事及び電気設

備工事については、平成29年6月29日付けで市議会の議決を得て工事委託契約を締結し施工中です。今回、機器単価の精査、入札差金の発生による工事費の減額及び日本下水道事業団における管理諸費の減額が生じたため、工事委託変更契約を締結するものであり、全会一致で可決しました。

工事請負契約の締結について

総社小学校既存校舎解体工事については、予定価格が1億5千万円以上であることから、市議会の議決を得ようとするものであり、全会一致で可決しました。



解体される総社小学校既存校舎

平成30年11月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	付議事件	結果
議案第80号	総社市職員給与条例の一部改正について	原案可決
議案第81号	平成30年度総社市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議案第82号	平成30年度総社市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第83号	平成30年度総社市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第84号	平成30年度総社市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第85号	平成30年度総社市農業集落排水事業費特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第86号	平成30年度総社市公共下水道事業費特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第87号	平成30年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第88号	工事請負契約締結の変更について ※総社小学校校舎改築電気設備工事	原案可決
報告第13号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について ※庁用自動車の事故に係る和解及び損害を賠償すること	報告を受けた
議案第89号	総社市職員給与条例の一部改正について	原案可決
議案第90号	総社市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の制定について	原案可決
議案第91号	総社市自転車駐車場指定管理者の指定について	原案可決
議案第92号	総社市火災予防条例の一部改正について	原案可決
議案第93号	総社市イメージキャラクター条例の制定について	原案可決
議案第94号	財産の取得について ※総社市学校給食センター(仮称)の厨房機器の購入	原案可決
議案第95号	総社市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第96号	総社市国民宿舎指定管理者の指定について	原案可決
議案第97号	倉敷地区農業共済事務組合の解散について	原案可決
議案第98号	倉敷地区農業共済事務組合の解散に伴う財産処分について	原案可決
議案第99号	倉敷地区農業共済事務組合規約の変更について	原案可決
議案第100号	総社市農業共済条例の廃止について	原案可決
議案第101号	総社市営住宅条例の一部改正について	原案可決
議案第102号	総社市下倉住宅条例の廃止について	原案可決
議案第103号	工事委託契約の締結について ※総社市特定環境保全公共下水道美袋浄化センター災害本復旧工事	原案可決
議案第104号	工事委託契約締結の変更について ※総社市富江汚水中継ポンプ場水処理設備工事及び電気設備工事	原案可決
議案第105号	平成30年度総社市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
議案第106号	平成30年度総社市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第107号	平成30年度総社市公共下水道事業費特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第108号	工事請負契約の締結について ※総社小学校既存校舎解体工事	原案可決
陳情第2号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書	不採択

平成30年11月定例総社市議会 賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

議案等	議員名	山田雅徳	溝手宣良	三上周治	仲達幸弘	菅野哲也	三宅啓介	岡崎亨一	深見昌宏	小川進一	高谷幸男	小西義巳	難波正吾	小西利一	津神謙太郎	村木理英	頓宮美津子	赤澤康宏	名木正昭	根馬和子	山口久子	剣持堅吾	議決結果
		議案第93号 総社市イメージキャラクター条例の制定について		○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
陳情第2号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書		×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

〔凡例〕○：賛成 ×：賛成でない
・ 賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。・ 加藤保博議員は、議長のため採決には加わりません。

三上 周治



幼稚園のエアコン設置について必要と思うかどうか

平成31年度で18園に100%設置予定である

幼稚園・小学校・中学校のエアコン設置状況はどうか。

小学校・中学校の普通教室は100%設置しているが、幼稚園の保育室は18園中12園が未設置である。

道徳教育について

道徳とは何か。

人間的により良く生きていくための人格的な特性。

道徳教育の教科化に伴う本市の独自性はあるのか。

本市の教育大綱を具現化するため4つのプログラムの中に品格教育があり、共通テーマで実践している。

教職員の負担になっていないか。

これまで週1時間の道徳教育を行っており、負担になっているとは思わない。

仲達 幸弘



今回の災害の検証をどのように行うのか

関係者を集めてしっかりと検証を行っていく

ダムの放流について、人災との声があるかどうか。

ダム管理者(岡山県・中国電力など)に国土交通省や下流の自治体を加えた関係者会議の開催を呼び掛け、しっかりと意見を伝えていく。

高梁川の砂利や雑木、竹の撤去についてはどうか。

国や岡山県へ働き掛け、障害物を取り除いてもらうよう強く要望していく。

固定資産税軽減措置の延長を

被災した住宅を撤去した場合、固定資産税を最大2年度分軽減する国の措置について、被災者の生活を考えてさらに延長する考えはないか。

市の負担で延長したい。何年間にするか、復興ビジョンに盛り込みたい。

復興に対する熱い思いは9月の市長選挙に繋がるか

市長選挙に、出るか出ないかは別問題だ

被災者アンケートなどで出された意見や要望について今後どう対応していくのか。

弱い人の立場に寄り添い、真摯に対応していく。

市道滝の端草田本線の改良を

落石等による排水路のつまりや道路幅員が狭い箇所がある。ガードレールの設置や道路改良が必要と思えるが、どうか。

通行がスムーズにできるように工事可能な所から道路改良をしていきたい。

職員の過重労働と人員増

職員は過重労働で疲弊している。人員増の考えは。

退職した職員の補充に加え他都市からの応援もいただいている。今後も職員は減らさない方向で考えていく。

岡崎 亨一



男性の風疹の予防接種の支払いの簡素化はどうか

病院窓口での助成金額を引いての支払いにする

緊急避難所の環境整備について(小中学校の体育館)

国の緊急防災・減災事業債を使ってエアコンの設置はどうか。

基本的に体育館は緊急一時避難でしか使用しない。エアコンが付いている施設に避難していただく。勉強させてほしい。

飲料水・毛布の備蓄をしてはどうか。

備蓄していく。

テレビなどの情報機器を設置する環境整備はどうか。

全避難所に災害情報の書類は配布したが、情報が届きにくかったため、徹底的に環境整備を行う。

多目的トイレの設置はどうか。

萱野 哲也



復興に対する熱い思いは9月の市長選挙に繋がるか

市長選挙に、出るか出ないかは別問題だ

10月は市長任期が切れ市長選挙がある。この復興に対する熱い思いは市長選挙で当選して更にもう4年間力を入れないのか。

復興に全力でやっつけていくが市長選挙は別問題だ。

平成24年の契約変更の地方自治法違反では市長、副市長の減給処分がなされた。この度も地方自治法違反を犯したが市長・副市長の減給処分を考えないのか。

自治法違反は申し訳なかったが処分は考えていない。

自衛隊への協力連携について

西日本豪雨災害で自衛隊の方々は大変お世話になった。日頃から自衛隊への協力・連携が必要と考える。自衛隊募集の協力で必要な資料を防衛

省に提出してはどうか。

対応していく。

これからの復興計画の実行や災害対策で地域防災マネージャーとして退官した自衛官を採用してはどうか。

良い人がいれば採用する。

入管難民法について

少子高齢化で草刈りや溝掃除ができない地域もある。出入国難民法が国会で可決したら、本市にも多くの外国人が入ってくる。そこで外国の方にも地域・町内会の奉仕作業を行ってもらうなど、多文化共生に力を入れていく必要があるがどうか。

多文化共生を本格的にやっつけていかなければならない。



三宅 啓介

問 災害時に市HPを災害モードにできないか

答 災害時には災害情報提供に特化した市HPにする

災害対策について

問 7月豪雨災害の検証をどう行い、今後につなげるか。

市長 今回の災害を記録した後世につなげるため災害記憶委員会を立ち上げ、同時に検証も行って今後につなげる。

問 避難所の避難者数をホームページで公表できないか。

市長 そうすべきと考える。

問 浸水想定周知看板を設置すべきと考えるがどうか。

市長 今後は設置したい。

問 災害備蓄品の再配置を検討すべきではないか。

市長 学校の体育館などへ再配置していく。必要物資の身についても災害を経験し再構築すべきと考えている。

問 災害復旧中の子どもの預かりの課題をどう考えるか。

頓宮美津子

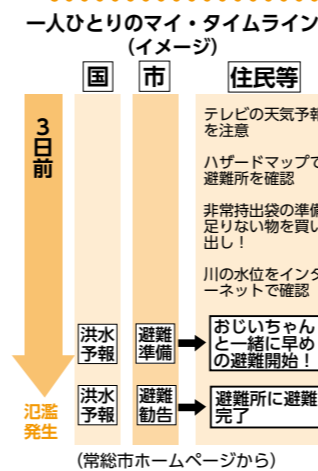
問 LGBT(性的少数者)支援としてパートナーシップ認証制度を導入したい

答 福祉の視点で支援のために導入したい

防災について

問 風水害から逃げ遅れによる被害者を出さないために、鬼怒川の大災害から生まれたいつ、誰と、どのようにして逃げるのか、時系列で避難するための「マイタイムライン」という防災行動を導入してはどうか。

市長 常総市の鬼怒川の大災害はすごかった。総社市も直ちに支援をしたのを記憶している。その常総市の防災対策から学ぶべきと考えるので是非参考にしたい。



(常総市ホームページから)

人権政策について
問 現在、性的思考、性自認の違いによるLGBTの人たちは、957万人ともいわれ、無理解による小中学校などでのいじめや自殺など困難を抱える子どもがいる。学校現場での理解や支援のために文部科学省では2015年に全国の教育委員会に配慮のある支援に努めるよう通知を出した。本市ではどのような対応をしているのか。

教育長 教職員の研修をはじめ、保護者などへの理解を深める働きかけをしているところである。

問 相談窓口が必要だと思いがどうか。

市長 研修を行いワンストップでできるよう進めたい。

名木田正昭

問 総社市史の改訂版について発刊の考えはあるか

答 発刊していく方向で考えている



問 今回の集中豪雨など多岐にわたり大きく変革しているので、総社市史の改訂版を発刊してほしいがどうか。

市長 災害はもちろん、雪舟くんや障がい者千人雇用等々の多くのことが含まれているので、発刊するようやっています。

問 大相撲総社場所の経費の関係はどうであったか。

市長 アリーナの施設使用料の減免122万3500円で済んだ。市が利益を生み出すことはできず、主催はマスクミにお願いした。

問 大イベントの大相撲総社場所の効果はどうであったか。

市長 災害の直後で、間接的にいろいろ効果があった。今後も市のPRに大いに活用し

難波正吾

問 子ども医療費助成の拡充はどうか

答 中学生は入院無料、通院は1割負担に拡充した



問 県下の水準より遅れている。中学校卒業まで通院、入院の無料化の考えはどうか。

市長 中学生への助成については通院は1割負担、入院は無料化としている。今しばらく状況をみたい。

問 以前、医療費適正化推進委員会から指摘された、コンビニ受診等はどうか。

部長 市内の医師と一緒に啓発し、コンビニ受診は減ってきている。なお、今年度10月末までの小児医療費は、約1億5439万円であり、予算内で推移している。

市営住宅の改善、統廃合への具体策はどうか

問 井手、天原住宅はかなり劣化しており、新たな入居募集を中止して久しい。場所は



浅尾住宅



井手住宅

一等地である。浅尾住宅への統廃合を検討したらどうか。
市長 入居者の思いが、今のままで良いが強く、転居が困難である。課題として検討する。



溝手 宣良

問 7月の豪雨災害時に岡山市との連携はどうだったか

答 岡山市との連携は取っていませんでした

危機管理について

問 7月の豪雨災害では高梁川水系・流域で甚大な被害が出たが、本市には他にも東部を流れる笹ヶ瀬川水系の足守川や前川等注視すべき水系があるという認識を持っていたか

市長 阿曾の方々を守る必要が絶対にあるから、これから県とも連絡を取り合いながら足守川は大事なんだということを我々も認識していきたい。

問 足守川の状況次第では東阿曾地区は重大な被害が想定されるが、岡山市とは連携を取っていたのか。

市長 これから岡山市との連携を視野に入れて、こういった協調体制が取れるのか大森市長と話してみたい。

問 阿曾小学校区には砂川、久米田川、桜川、血吸川、足守川と多くの二級河川が存在するが、水位計等は設置しているのか。

市長 長良地内の砂川と上林地内の前川に設置され、11月26日から運用している。

山林の開発について

問 市内にも山肌ソーラーパネルが設置され、随分と目立つ所があるが、そのことで治山治水が侵されたり、桃太郎伝説で日本遺産に登録された鬼ノ城からの景観を大きく損なう恐れがあると思うが、今後何も対策はしないのか。

市長 懸念はしているし、これから考えていくべき課題である。何らかの手立ては打っていく。



高谷 幸男

問 いじめ問題について学校の対策はどのような状況か

答 マニュアルを作成し、共通認識を持ち指導している

問 いじめ問題の実態はどのような状況か。

教育長 子ども一人ひとりのデータを共有し指導している。

問 いじめをなくすことは困難だが、今後はどうか。

教育長 システムはあるが、コミュニケーション不足もあり、スマホなどの使用方法も検討し防止対策に努めたい。

問 そうじゃ総合教育会議の機能実態はどうか。

教育長 法改正に伴い設置し、教育大綱を定めたが、十分な開催ができないことから、市長の指示を受けた。

平成31年度当初予算は
問 何に主眼を置いた政策予算を考えているのか。

市長 災害対策を念頭に、更に復興ビジョンを基に進める。

問 災害の収入減と支出増を、どの財源で補うのか。

市長 決算を考えると、各種税が増加見込みであり、また地方交付税も考えて対応する。

空の産業革命のドローンは

問 小型無人航空機のドローンをどのように捉えているか。

市長 最重要の認識はなかったが、今回の災害時でもその有効性を受け止めた。

問 今後導入し、防災をはじめ幅広く活用してはどうか。

消防長 防災、災害、人命救助などに対応でき導入したい。
産業部長 観光、買物難民対策などで導入が必要である。

市長 認識も新たに導入したい。



活用が望まれるドローン

山田 雅徳

問 特別な事情による予防接種再接種への費用支援実施を

答 子ども達への再接種支援を実施する方向で検討したい



問 小児がん・白血病等の治療として、骨髄移植等の医療行為により免疫を消失された方に対する予防接種の再接種は現状では任意接種であり、最大で30万円の経済的負担となる。経済的負担の軽減及び感染症予防のため、再接種費用を助成してはどうか。

市長 小児がん・白血病等の病気そのものも大変な疾病だ。「全国屈指の福祉文化先駆都市」「子育て王国そうじゃ」を掲げている本市としては、再接種の費用を助成する方向でいきたい。

育児と仕事の両立に向けた課題について

問 働き方も多様化し、日曜や祝日も就労する家庭も多い。休日保育拡充の考えはあるか。

教育長 現時点では拡充予定はないが、休日保育のニーズが高まっているようにも感じている。アンケート調査など実態把握をして検討したい。

防災・減災について

問 アパート・マンション入居者や新しい住民、外国人市民など、町内会や自治会に未加入の市民も存在する中で、どのように緊急時の情報を伝えて、総社市民を守るのか。

市長 現在の情報ツール(報道との連携、広報そうじゃ、ホームページ、SNS、緊急FMラジオ「こくつち」等)の検証と強化を図ると共に、地域組織未加入と思われる市民32%については、平常時から地域での人間関係を深めていくことが必要だと考える。

小川 進一

問 備蓄品の状況はどうであったか

答 多くの支援もあり、十分だった



問 食糧品の備蓄品の状況はどうか。

市長 米飯で3万6590食、水は2リットルのペットボトルで1200本ある。

問 災害時、3日分の食糧が必要だと思うが、何人分に相当するか。

市長 約4000人分である。

問 アレルギー対応の食品の備蓄はあるか。

市長 アマゾン総社からの協力により、必要な物は揃っていた。

問 避難所の常備品はどうか。緊急避難した方は、体育館等の床に直に座ることとなるがどうか。

市長 毛布は、備蓄倉庫に1000枚、清音の倉庫に1500枚あり、順次増やしてい

問 来年度の保育所等の申込み状況はどうか。

教育長 本年度よりも、かなり増えている。

問 10月からの保育無償化の影響はあるか。

教育長 影響は分からないが、働くお母さんが増えているのは事実だ。

問 放課後児童クラブで「1日休んでください」ということがあるのか。

教育長 定員を超えているクラブでは欠席ローテーションをしているところもある。

問 クラブによっては、教室が狭いところもあるがどうか。

教育長 順次改良を加え、より良い環境を作っていく。



根馬 和子

問 通学路における安全対策は十分にできているか

答 危険箇所の確認を教師、指導員、保護者等で行っている

問 山手小学校周辺のママシ対策は早くしてほしい。

教育長 側溝の工事をしている。

問 通学路の危険と思われる場所の認識はどうか。

教育長 教師、保護者等で確認して安全配慮をしている。

問 教室のエアコンの風に直接当たった児童が体調を崩し病院に数ヶ月掛かる被害を受けた事を知っているか。

教育長 承知している。以後気を付けて指導している。

問 遊具は定期点検が大切だ。

教育長 定期点検はしている。

問 本市の子どもの貧困の実態はどうか。

市長 年収が122万円以下の世帯が7・8%いる。また平均年収の半分以下の世帯が9・5%いる。

問 日本は35の先進国の中で9位の13・9%の不名誉な貧困率になっている。貧困対策の放置は社会の損失、推進すれば未来への投資と言われる。

市長 生活困窮者を支えるべく何らかの決まりを作る。

問 ボランティアが子ども食堂をしているが、市内にはどれくらいあるのか。

市長 4か所で行っている。

問 内閣府では「子どもの未来応援交付金」が今年度予算化され、岡山県では、美咲町のみが活用だ。本市も申請してはどうか。

市長 その方向で考える。



深見 昌宏

問 庁舎の建て替え、美術館の建設をどのように考えるか

答 来年度の早い時期に建設場所やコンセプトを考える

問 庁舎の建て替えについてどのように考えるか。

市長 合併特例債を念頭に2024年度完成を目標に考えていきたい。

問 美術館についてどのように考えるか。

教育長 文化芸術会議の答申を今年度中にいただくようにしたい。そして単独か複合か基本理念をどうするかを考えて答えを出したい。

市民の安全、安心について

問 7月の豪雨災害での消防体制はどうであったか。

市長 7月5日21時に消防指令本部を立ち上げ全職団員を待機させ、翌朝職員100名で臨戦態勢を整えた。6日から7日にかけて約1000件の119番通報があった。

消防長 助けを求めている市民の声に答えることができない、という現実これほど無力感を感じた災害は未だかつてなかった。

問 今後の消防の見直しについてどのように考えるか。

市長 今回の災害を受け市民の助けを求める声に十分に答えることができなかった事実に応え、最先着実働部隊である消防力の強化が不可欠である。昨今の人口増加や高齢化に伴い救急等の出動件数は増加の一途をたどり職員のレベルアップ、人員等の補強を考へなければならぬ。市民の生命、財産を守り、そして安全安心なまちづくりを進めていく。



村木 理英

問 景観の維持管理体制についての考えはどうか

答 現状をふまえて制度の見直しをする

問 本市はまちづくり協議会が地区の雑草処理を行っている。しかし、高齢化によって作業が困難になっている。高齢化率・面積・費用などを考慮した制度の見直しをすべきではないか。

市長 高齢化の現状を踏まえて見直しを行う。

問 現在の街路樹は、歩道の幅員や電線の高さにそぐわないものが多い。また、伐採により街路樹としての役割を果



放置されている雑草



木の根により隆起した歩道



枝が交差した電線

たしていないものも多い。そのような街路樹は取り除き、年間約1200万円の伐採費用の一部を雑草処理に苦慮している地域にあてるべきと考えるがどうか。

市長 現状の街路樹は問題があると認識している。そのことを考慮して見直しをする。

ちょっと議会でも見に行こうか!!

～議会傍聴をする5つのメリット～

- その1 総社市の今が分かる!
- その2 市政を身近に感じられる!
- その3 中継では味わうことのできない、臨場感を感じられる!
- その4 議員の素顔!?!に触れることができる!
- その5 ?!...あなた自身で見つけてください!

情報満載

まずは、お気軽に市役所(玄関受付)までお越しください。

あいさつ状の禁止について

公職選挙法の規定により、公職の候補者又は公職の候補者となろうとする者(公職にある者を含む)は、当該選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞状、暑中見舞状その他これらに類するあいさつ状を出してはならないこととされています。御理解と御協力をお願いいたします。

2月定例会市議会の予定

日時	内容
2月26日(火)	開会
3月 4日(月)	一般質問
3月 5日(火)	一般質問
3月 6日(水)	一般質問
3月 7日(木)	一般質問・質疑
3月 8日(金)	委員会
3月11日(月)	委員会
3月12日(火)	委員会
3月22日(金)	閉会

*各日午前10時開始予定です。

議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

[平成30年9～12月分] (単位:円)

支出区分	支出年月日	支出金額	支出先等
議長賞	11/18	20,000	総社市長杯卓球大会
土産等	11/16	11,004	在京総社の会
その他	9/19	14,400	新潟市、仙台市 災害支援のお礼
4月からの累計	-	65,804	-

総務生活委員会

当委員会では審査した案件は、10月臨時会では議案1件、11月定例会では議案5件、陳情1件であり、全て原案どおり可決しました。(陳情1件は不採択)

主な内容は次のとおりです。
《11月定例会》

●総社市公益的法人等への職員派遣等に関する条例の制定について(議案第90号)

公益的法人への職員派遣に関する手続き等の透明化、職員の身分取扱等の明確化を図るため必要な事項を定めようとするものです。

問 派遣する公益的法人は岡山県農業共済組合だけか。一部事務組合も対象か。

答 一部事務組合については、地方公共団体であり、それぞれ協定に基づき派遣を行っているため、今回の条例には該当しない。4月に設立される岡山県農業共済組合について

は、一部事務組合の形をとっておらず、地方自治法の及ばない団体となるため、条例を制定し派遣しようとするものである。

●総社市火災予防条例の一部改正について(議案第92号)

消防法令に関する重大な違反のある防火対象物について、法令違反を公表することにより、利用者の火災被害を軽減するとともに、防火対象物関係者による消防用設備等の設置促進を図るものです。

問 今後条例が施行されると公表されることになるが、現在違反対象の3事業所には再度周知するのか。

答 違反対象物については、消防設備等の重要性を説明しており、公表制度が開始されるまでには、全ての対象物で違反が是正される見込みである。

●平成30年度総社市一般会計補正予算(第10号)(議案第105号)(所管部分)

《補正予算の主なもの》

・災害対応及び文書配布嘱託員の中途退職により不足する郵送料の増額、7月豪雨災害の避難所として使用したことにより不足する市庁舎等の光熱水費の増額

問 文書管理経費の通信運搬費の増額の内訳はどうか。

答 7月豪雨災害の際に見舞金をくださった方や物資を供いだいた方等に礼状を発送したこと、また文書配布嘱託員が年度途中で退職したことに伴い発送件数が増えていることによるものである。

文教福祉委員会

当委員会で審査した案件は、10月臨時会では議案1件、11月定例会では議案7件であり、全て原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

《11月定例会》
●総社市イメージキャラクター条例の制定について

(議案第93号)

子育て王国そうじゃの Mascotキャラクターであるチユッピーを本市のイメージキャラクターとし、その活用を促進することにより、市民の郷土愛の醸成を図り、もって活力あるまちづくりに資するため、必要な事項を定めようとするものです。

問 著作権、著作者人格権はどうなっているのか。

答 著作権については、本市にあるので自由に使うことができる。著作者人格権についても、子育て王国そうじゃの国王として従前どおり維持し、それとあわせて、総社市全体のイメージキャラクターとしても使っていくので、著作者の意に反する改編にはならないと考えている。

問 条例の制定は著作者の了承を得ているのか。

答 報告という形で連絡している。本市のイメージキャラクターとして位置付けるとい

うことについて、了承をいただく必要はないと思っ

◎以上のような質疑、答弁の後、著作権や著作者人格権に関する著作者との交渉の経緯等について委員間の自由討議をした後、萱野委員から「条例の内容に反対するものではないが、手続きとしてチユッピーの著作者と権利関係契約の締結の関係を精査した上で、公に広

まることを望んでいる。今回の条例は権利関係が不十分という意味で反対である。」旨の反対討論があり、その後、村木委員から「チユッピーは市民に認知

度が高まっており、条例を制定し本市のイメージキャラクターという位置付けをするべきと考える。」旨の賛成討論がありました。起立採決の結果、起立多数により、原案を可決すべきであると決定いたしました。

次に、村木委員と山口委員

から本件に関連し「この条例の制定にあたっては、権利関係を精査し、著作者の同意を得たうえで施行すること。」の旨の附帯決議案が提案され、全員一致で附帯決議を付することに決定しました。

●財産の取得について(議案第94号)

現在建設中の総社市学校給食センター(仮称)において必要となる厨房機器を購入するに当たり、予定価格が2千万円以上であることから、市議会の議決を得ようとするものです。

問 納品期限が8月20日であり、9月の給食開始まで10日程しかない。アレルギード対応等への準備は大丈夫なのか。

答 納品は7月末を目安と考えている。できるだけ調理員がトレーニングする時間が長く取れるようにしたい。

産業建設委員会

当委員会で審査した案件は、10月臨時会では議案2件、11月定例会では議案11件であり、全て原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

《11月定例会》
●総社市国民宿舎指定管理者の指定について(議案第96号)

サンロード吉備路の指定管理者を指定するもの

問 委託する5年間に、どのようなことが期待され、どのようなことを改善する必要があると考えているのか。

答 全国2位の宿泊利用率を確保しており、優秀な成績と考えている。休暇村協会の130万人の利用があるネットワークの活用により、利用者の増加が期待できる。課題としては仕入れ等の経費率の改善に努める必要があり、毎月のミーティングで話し合っ

いく。

●倉敷地区農業共済事務組合の解散について(議案第97号)

農業共済事業の、より一層の合理的で効率的な運営を目的に、県内全域を対象とした岡山県農業共済組合が設立されることに伴い、平成31年3月31日をもって倉敷地区農業共済事務組合を解散することについて、構成市町と協議するため地方自治法の規定により、市議会の議決を経ようとするものです。

問 全国的な流れで岡山県農業共済組合に一本化されるが、効率化によって動きが悪くなったりはしないのか。利用者に対して継続的な支援はあるのか。

答 県内10組合あるが、現在の事務所は支所として残るため、サービスの低下にはつながらないと考えている。

復興に向けて・その軌跡 (vol.1) 常に寄り添う総社を目指して

7月の豪雨災害から6カ月が経過しました。私たち総社市議会は、この大災害を決して忘れることなく、そして、被災された方々の痛みを共有し続け、最後まで復興の力添えをさせていただきます。これからも、数々の困難が考えられますが、元の生活を取り戻されるまで、寄り添い続けます。広聴広報委員会では、復興に向けて歩みだした軌跡を多くの皆様に伝えていきたいと思ひます。12月2日と9日には、昭和地区と下原地区の方を対象に復興ビジョン策定に向けての意見交換会が開催され、12月25日に総社市復興ビジョンが策定されました。今後も、復興について特集したいと思います。皆様のご意見、ご要望をお気軽にお寄せください。

「総社市復興ビジョン」 策定にむけての 意見交換会



(昭和地区)



(下原地区)

ご意見を伺い、 市政に活かす!

広聴広報委員会では、皆様のご意見を募集中です。

懇談会Q&A

Q どんな団体でも良いの?
A 市内のスポーツ少年団、PTA、ボランティア団体等、少人数でも構いません。また、老若男女を問いません。

Q 場所や時間は?

A 皆様のご都合に可能な限り合わせます。広聴広報委員会が皆様のところにお伺いします。時間も合わせます。

Q どんな話をするの?

A 何でも結構です。素朴な疑問、意見、提案も大歓迎です。

Q 懇談会は、どう活かされるの?

A 広聴広報委員会がお話をお聞きし、市議会でも共有し議員活動に活かします。

10月臨時市議会 市長に嚴重注意 新総社市学校給食センター建設工事 契約変更議案に地方自治法違反

議案第77号では、総社市学校給食センター(仮称)建設工事請負契約締結の変更について審議しました。当初、この工事は、10億1952万円で工事請負契約が締結されていきました。しかし、敷地造成時に発生した不要土の処分と付属建物の基礎部分に地盤改良が必要となったため、工事費が1138万3200円の増額となりました。それにも関わらず、市長は変更議決前に着工していました。委員会審査では委員会から「議決が必要という認識がなかったのか。」と質疑したところ当局から「現場では小さな変更もあり議事に報告するタイミングが難しい。議決が必要という認識はあったが時期を失った。」と答弁がありました。審査の過程で、議会の議決

平成30年10月臨時総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	件名	結果
議案第77号	工事請負契約締結の変更について ※総社市学校給食センター(仮称)新築工事	原案可決
議案第78号	和解及び損害賠償の額を定めることについて※井山宝福寺のライトアップイベントの事故	
議案第79号	平成30年度総社市一般会計補正予算(第8号)	



権の侵害、公共工事の執行に問題があることが明らかになりました。しかしながら、すでに変更部分の工事が完了しているなどの諸般の状況から苦渋の選択で可決すべきものと決定しました。しかし、これは市長と議会との信頼関係、議会の存在意義を問われる重大な問題であると判断し、議長から嚴重注意を行いました。(村木理英)

地域づくり協議会との 意見交換会 パート2

本年度から開始した地域づくり協議会の皆様との意見交換会。去る11月18日に総社北小学校区の皆様と開催することができました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。内容は、日頃の地域のお困りごと、高齢化による地域の課題など大変多くのご意見をいただきました。中でも、高齢化による地域の草刈りの問題がありました。特に泉地区は坂や山肌の法面が多く、地域づくり自由枠交付金の中から年2回業者に委託し、年間150万円かかっています。また、農道においても同様のことが起きています。高齢化で、これまでのように農作業ができないまま放置されているところでも、農道が崩れていけば直さないと



意見交換会 (総社北小学校区地域づくり協議会)

(頓宮美津子)

成人記念式実行委員会の皆さんと 広聴広報委員会の懇談会を開催

広聴広報 ニュース

広聴広報委員会は、地域の声を「広く聴く」活動の一環として、市内各種団体との懇談会の開催に取り組んでいます。第1回目は、12月7日に成人記念式実行委員会の皆さんと懇談会を開催しました。成人記念式の企画や準備、運営に携わる横山也仁委員長と実行委員の皆さんとの意見交換では総社のイメージや暮らしについて、今、このマチに足りないものなど、若者の生の声を聞きました。



二十歳からみた総社

参加者からは、「愛着を感じる」「イルミネーションがキレイ」「スーパードラッグストアが充実して便利」などの意見がある一方で、「遊びに行くところがない」「勉強やおしゃべりができるカフェがほしい」「希望する職種が総社にはないので、就職は市外に」との声もあがりました。

意外な声も

「遊びに行ったり、アルバイトをしたりするところは市外にあるので問題ない」「落ち着いていて、治安が良く住みやすい今の総社が良い」といった意見など、必ずしも都会化を望むわけではないといった声もあり、様々な意見が交わされ、予定した時間を越え、熱気ある懇談会になりました。

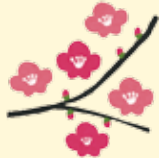
成人記念式の本番まで1か月という忙しい時期にもかかわらず、懇談会にご参加いただいた実行委員会の皆さん、ありがとうございました。今後、広聴広報委員会は、市内の各種団体との懇談会を行います。(山田雅徳)



編集後記

昨年7月の西日本豪雨では、改めて災害の恐ろしさを痛感しました。市民、ボランティア、職員一丸となった懸命の復旧により、現在被災者の方々は仮設住宅などに移り、復興に向けた新たな生活を送られています。

しかしながら多くの市民の方々が災害に対する不安や不満を抱えていて、さまざまな意見や要望をお聞きます。その声に真摯に対応し、要望の実現など少しでも不安や不満の解消に向けて、議会として精一杯努力していきたいと思えます。がんばろう総社！
(仲達幸弘)



◆広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 津神謙太郎
- 副委員長 溝手 宣良
- 委員 山田 雅徳
- 委員 三上 周治
- 委員 仲達 幸弘
- 委員 村木 理英
- 委員 頓宮美津子

平成31年2月1日発行

発行／総社市議会 編集／広聴広報委員会
電話 0866(92)8332 Eメール gikai@city.soja.okayama.jp

印刷／株式会社都文社印刷

再生紙・ハットマーク
を使用しています。

